

施設稼働時の環境負荷をカーボン・オフセット



施設稼働に伴う電力及び化石燃料の使用に伴う環境負荷 をオフセット

- ・オフセットの種類 : 施設稼働によって排出される CO2をオフセット
- ・オフセット対象 : 本社事務所施設稼働に伴う電力及び化石燃料の使用に伴う環境負荷
- ・実施期間 : 2011年4月
- ・オフセット費用負担 : 株式会社マルワ
- ・クレジットの種類 : 国内クレジット
- ・プロジェクト種類 : 埼玉県：食品工場の A 重油焚貫流ボイラーを高効率の都市ガス焚貫流ボイラーへ更新することにより燃料消費量を低減し、またボイラーの燃料を A 重油から都市ガスへ転換することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。
- ・プロバイダー : 株式会社ウェストボックス
- ・無効化 : 2011年2月7日

<ご担当者の声>



もともと ISO14001を認証取得し運用していましたが5年が経過しルーチン化されてきたと感じていました。何か他社と差別化が図れること、そして企業としての社会貢献をしたいという CSR 的な観点からカーボン・オフセットのことで知り取り組むことを決めました。

正直認知度が低く、お客様にとっても目に見えるメリットではないので伝え方が難しいのですが、ご理解頂けるお客様には積極的にこの概念を取り入れていただいております。

カーボンオフセットは企業と地域と社会が共に触れあえる機会・方法を考え、一緒に行動していくことが大切だと考えています。そのためには企業から情報発信することが重要なことだと私達は感じております。